

一般社団法人全日本機密文書裁断協会

第 12 期（2025 年度）事業報告

当協会の目的である機密文書の漏えい防止および紙の再資源化の必要性を訴求するため、広報委員会では会員各社のホームページ（以下「HP」という。）への送客率向上を目的として、「リスティング広告」を中心とした広報活動を継続して展開しました。会員ブログにおいては、「我が社のシュレツダサービス」をテーマに第 5 巡目を実施するとともに、裁断サービスへの理解促進を図るため、出張・引取・持込の各種サービス紹介動画を刷新し、サービスの普及推進ならびに協会の知名度向上に取り組みました。

研修勉強委員会では、前年度に実施したアンケートにおいて多数の要望が寄せられた現地集合型の情報交換会を、東京および大阪の 2 会場にて開催しました。会員各社の営業担当者や業務実務者間で活発な意見交換が行われ、ランクアップ制度においては最高位であるマイスターが新たに 9 名誕生するなど、裁断サービスの品質向上および制度認知の拡大に寄与しました。

また、ブロック活動助成金制度においては、地域展示会への出展、合同ブロック会議の開催、施設見学会の実施など、各ブロックの主体的な活動が展開され、ブロック内の連携強化を図りました。

本年度の各種事業により、協会の基盤強化と会員間の連携深化が着実に進展しました。これらの成果を次年度へとつなげ、持続的な成長と社会的信頼の確立に向けて、引き続き取り組んでまいります。

【会員の異動数】

区分	会員		増減
	2025 年 4 月 1 日	2026 年 3 月 31 日	
正会員	57 社	56 社	-1 社
賛助会員	8 社	8 社	0 社
合計	65 社	64 社	-1 社

退会企業：株式会社九州エコワ（鹿児島県） 【2025 年 3 月】

1. 裁断業務の品質対策

（1）定例研修勉強会の実施

第 12 期の研修勉強会は 2019 年以来となる集合型の意見交換グループセッションを東京、大阪の 2 会場に分けて開催いたしました。開催に当たり、第 11 期委員会活動での Google フォームを使った『Q&A 方式』にて会員様よりご意見を頂戴し、委員会に希望される活動として集合型の意見交換を希望する声が多数あり、検討し実施する運びとなりました。これまでも近年のコロナ禍に置きましては W E B（Zoom）を使用したグループセッションを行って参りましたが、発言のタイミングや資料共有などでの限界もあり、この度の集合開催には開催前より参加者の方々から期待するお声を頂戴しておりました。これまでのグループセッションとは違い今期のグループセッションでは『設問』を設定せず、自由にお話いただくフリートーク形式にて行いましたが、各会場ではグループリーダーの方々の多大なるご協力もあり白熱したセッションを行っていただけたと感じております。開催後、参加者の皆様より頂戴いたしましたアンケートでは『各団体の取り組みや悩みを共有することができて有意義な研修会でした。』『据え置きと出張細断で別の視点からの様々な懸念点や工夫などお伺いでき有意義な時間でした。』等の意見を頂戴しております。参加者からは定期的な開催希望のお声もいただいておりますので予算面を考慮した上で今後も継続した形の勉強会を検討してまいります。

【研修勉強委員会議開催日】

2025 年 7 月 11 日 AP 大阪茶町 K ルーム
2025 年 9 月 5 日 ナカバヤシ株式会社 大阪本社
2025 年 12 月 11 日 オンライン会議
2025 年 1 月 15 日 オンライン会議
2025 年 2 月 13 日 ナカバヤシ株式会社 大阪本社

（２）表彰制度

本会員より推薦された下記会員企業を、会の発展に寄与した企業および、社会貢献活動に取り組んでいる企業であると理事会で認め表彰いたします。

【表彰対象者】

表彰対象者名（企業名）	表彰理由
株式会社山本清掃 奥 健一 様	2016 年より約 10 年間、機密文書裁断抹消処理士として事故やトラブルなく業務を遂行され、機密情報保護およびリサイクルの重要性の周知に尽力されました。さらに協会活動にも積極的に参加され、その功績を称え、ここに表彰いたします。

（３）機密文書裁断抹消処理士の運営

『抹消処理士』の維持管理業務を業務品質向上委員会から事務局へ引き継ぎ、第 12 期の「ランクアップ制度」を実施いたしました。今年度は、条件を満たした、「マイスター」9 名、「一級処理士」11 名、「二級処理士」4 名を新たに認定いたしました。

2025 年度現在 全国裁断抹消処理士 認定者数 496 名

【マイスター(17 名)】、【一級処理士(50 名)】、【二級処理士(71 名)】

「ランクアップ制度」は毎年 10 月 1 日より 10 月 31 日までを申請期間として受付いたします。

（４）会員企業間の連携強化

今年度のブロック活動助成金制度では、合同ブロック会議の開催、施設見学会が行われるなど、各ブロック内の連携強化を図りました。今後も文書裁断サービスの全国組織として、その連携・交流機能を最大限に活用し、会員各位のサービス品質向上と、当協会更には業界の活性化に結び付けるための活動を展開してまいります。

2. 広報宣伝事業

（１）本会ホームページの強化策

広報委員会では、協会 HP への集客力を高め会員各社のホームページへ送客率の向上を図るため以下の施策を実施いたしました。①会員ブログの継続（SEO 対策） ②リスティング広告の継続とリマーケティング広告の併用 ③裁断サービス紹介動画 ④LINE の運用継続。中でもリスティング広告の地域に合わせた最適化とリマーケティング広告を導入したことによりクリック数は約 3 倍に増加しました。

【広報委員会開催日】

2025 年 4 月 14 日 オンライン会議

3. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

（１）カーボンオフセットの継続実施

環境に配慮した事業活動を目指し、一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）が提供するサービス「法人サポーター制度」を活用、年間賛助会員として外部への訴求と、予算上限を設定のうえ協会 HP のセッション数に連動したカーボンオフセットの取り組みを通じ、豊かな森を後世に残す社会貢献活動を支援いたしました。

2025 年度は 約 10t の CO2 をオフセットしました。

【プロジェクト対象地】 ・奈良県 天川村

（２）文書リサイクルの促進

各種事業を通じ、全国会員企業による機密文書裁断サービスの普及・拡充を推進し、個人情報および機密事項の漏洩防止に寄与するとともに、紙資源の再資源化を推進してまいりました。

今後も社会的使命を自覚し、適正な事業運営を徹底することで、情報保護と環境保全の両立を実現し、循環型社会の形成に貢献してまいります。